

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価検証シート【2024年度評価検証】

事業名	デジタル技術の活用と多様な域外主体の参画によって 持続発展する全世代・全員活躍のまち推進事業		
活用している交付金	地方創生推進タイプ (生涯活躍のまち分野)	事業年度	R4年度～6年度

1. 事業の目的と概要

事業目的	住民の参画力を最大限に発揮するとともに、都市部からの人の流れや域外参画との化学反応により多様で新たな活力を創造していくことで、持続性と発展性のある生涯活躍のまちを構築する。 ■地域に自らしごとを生み出す移住者人材の確保を図る ■担い手人材及び官民連携によるまちづくりを持続的に、かつ成果を最大化するための仕組みづくりを図る		
主な取り組み内容	(1) 地域に新たなしごとをつくる人材を創出するための移住プロモーションサイクルの構築 移住促進、あったかファームによる農業人材の確保育成 (2) 子ども期から切れ目なく構築する若者人材育成モデルと関係人口をネットワーク化し、地域に新たな価値を共創するサイクルの推進 ふるさと共育、若者人材まちづくり講座、関係人口 (3) 首都圏大学と地域との連携による課題解決プロジェクトの実施 域学連携による課題解決プロジェクト (4) ICT×リアルハイブリッドで、全世代交流と全世代の健康を実現するプログラムの推進 健康づくりの促進、地域交流拠点の運営		
	R4	R5	R6
	22,362千円	16,062千円	

2. 評価指標

評価指標	目標値	R4年度実績	R5年度実績	R6年度実績見込	累計実績見込	達成
①ICT技術を活用する新規就農者数	4人	1人	2人	2人	5人	○
②移住者や関係人口と町民との共創により新たに生まれた課題解決事業	9事業	8事業	3事業	3事業	14事業	○
③移住者が関わる起業件数	3件	2件	3件	1件	6件	○
④町内におけるきゅうりの年間出荷量	1,017t	1,081t	1,030t	1,005t	(平均) 1,038t	○

3. 達成状況と事務局評価

(1)達成度とその考察						
中間時の 成果評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した				想定される理由	事業を計画どおりに進めることができ、KPIの進捗を含めて、順調に進んでいると評価できる。
目標値 達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で達成できる。 <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能。 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい				根拠	設定した4項目のいずれのKPIも、当初の見込みより順調に推移し、増加している。
(2)事務局(庁内)評価						
評価	<p>(1)の移住促進、農業人材を中心とした確保育成システムにより、計画通りにKPI①を達成し、事業目的である「地域に自らしごとを生み出す移住者人材の確保」を図ることにつながった。</p> <p>(2)(3)の取組みによって、町内の子どもから若者人材を中心とした育成確保とネットワーク化の仕組みづくりを進めるとともに、域外人材である関係人口との共創プロジェクトの実施などを推進することで、KPI②、③の達成に寄与し、主体的に地域づくりに関わる「人」のネットワーク化や地域の課題解決が図られたことは成果といえる。</p> <p>(4)の取組みにより、移住者と地域人材ともに、健康を実現して地域でつながる場を確保することで、地域課題や困りごとの発見と解決の仕組みとのマッチング機能としても役割を果たし、全世代が安心して暮らし続けることができる環境づくりに寄与している。</p>					
評価	A	B	C	D	E	A: 実現した B: (策定時と比較して)大きく前進した C: (策定時と比較して)前進した D: (策定時と比較して)変わらない E: (策定時と比較して)後退した
	○					

4. 外部評価 (地方創生総合戦略策定委員会)

評価検証 コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農の担い手育成の仕組みが、KPI①④の数値に成果として表れているように、人の流れを実現している鷹栖町の強みとして評価できる。 ・KPI②の数値が高いことは、主体となる人が増えているということで、まちが良い状態であると考えられる。主体となる人がいることでプロジェクトが起き、デジタルツールや補助金なども人によって有効に活用され、目に見える形で地域の魅力が増すことにつながる。 ・KPI④のきゅうりの出荷量については、天候等の影響があると思うが、年々減少している部分の分析と対策を進めること。
--------------	--

デジタル田園都市国家構想交付金事業評価検証シート【2024年度評価検証】

事業名	オール鷹栖による持続可能な地域づくり拠点形成事業		
活用している交付金	地方創生推進タイプ (小さな拠点分野)	事業年度	R5年度～9年度

1. 事業の目的と概要

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域社会で地方創生を担う人材育成と、地域の課題を自ら解決していく仕組みづくりを図る。 ■ 暮らしを支える小さな拠点を形成していく住民の参画力を最大限に発揮する仕組みづくりを図る。 ■ 小さな拠点と多様な主体とが、複層的に連携を図って地方創生を進めていくために、民間活力や広域連携、関係人口との関りを、積極的に推進する地域づくりを実現する。 		
主な取り組み内容	<p>(1) 小さな拠点における地域課題解決の取組み推進 課題解決の活動実践、人材育成研修</p> <p>(2) デジタル活用や広域連携、多様な主体との協働で実現する小さな拠点の魅力の向上 メディア制作、拠点施設予約システムの導入</p> <p>(3) 関係人口が継続的に関わる拠点づくり 課題解決の活動実践</p> <p>(4) 多様な連携と民間力の活用で推進するゼロカーボン拠点の実現 推進イベント実施、地域資源活用策の調査研究</p>		
交付金対象事業費 (実績)	R5	R6	R7～
	6,729千円		

2. 評価指標

評価指標	目標値	R5年度 実績	R6年度 実績見込		累計 実績見込	達成
①人口の社会動態における 転出入の差	55人増加	13人減少				
②小さな拠点を単位として住 民主体で新たに事業化され た課題解決の取組み	20事業	7事業				
③事業を通して新たに生じた コミュニティビジネス	7件	0件				
④小さな拠点の事業運営に 関わった関係人口の延べ人 数	200人	93人				

3. 達成状況と事務局評価

(1)達成度とその考察						
中間時の 成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した				想定される 理由	事業を計画どおりに進めることができているので、引き続き事業を遂行し、KPIの進捗や成果の発現を見込む。
目標値 達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で達成できる。 <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能。 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい				根拠	事業を計画どおりに進めることができているので、引き続き事業を遂行し、KPIの進捗や成果の発現を見込む。
(2)事務局(庁内)評価と今後の方向性						
評価	<p>(1)小さな拠点による課題解決や人材育成は、地域運営組織や集落支援員を中心として事業を進めており、新規の取組みによってKPI②の数値が向上するなどの成果が発現し、引き続き継続して取り組む。</p> <p>(2)により、小さな拠点のデジタル活用が進み、今後は地域の人材が中心となって、各分野の課題に対し、デジタルも活用しながら解決していく実践の支援を継続していく。</p> <p>(3)の関係人口の取組みは、KPI④の数値が向上しているように、小さな拠点の事業運営や人との関わりが生まれ、継続していて、引き続き、地域内外の人が互いに関わり合って互いの課題解決に有益な関係の持続を目指して取組みを進める。</p> <p>(4)民間連携や地域間連携の仕組みを生かし、地域のゼロカーボン取組みの調査研究や推進を図る。</p>					
評価	A	B	C	D	E	A: 実現した B: (策定時と比較して)大きく前進した C: (策定時と比較して)前進した D: (策定時と比較して)変わらない E: (策定時と比較して)後退した
			○			

4. 外部評価 (地方創生総合戦略策定委員会)

評価検証 コメント	<ul style="list-style-type: none"> 概ね計画どおりに進めていることは良いこと。やる前から完璧な状態にすることは難しいので、様々な視点から意見をもらってやりながら改善していく体制をきちんととることが大切。 KPI①の社会増については、事業内容をどのように組み合わせる目標値に持っていくのか、非常に難しい目標ではあると思う。 課題を解決するばかりに着目するのではなく、答えが決まった宿題ではない、問題も答えも自ら見つけるような自由にやりたいことを実現するというスタンスで、鷹栖町での活動が活発化されると、長期的な視点での「良い状態」のまちになっていくと感じる。
--------------	--